



聖光学院



いわき海星

21世紀枠で夢の甲子園出場が決まった、いわき海星ナイン=いわき海星高グラウンド

2年連続4度目

センバツ切符

史上初、本県から2校

夢舞台21世紀枠



2年連続4度目のセンバツ出場を決めた聖光学院ナイン=伊達市・聖光学院高野球場

聖光学院は2年連続4度目の出場で、11年夏から4季連続での甲子園出場。昨春秋の東北大会で優勝した仙台育英(宮城)と共に出場が確実視されていた。組み合わせ抽選は3月15日、大阪市で行われる。

3月15日組み合わせ抽選

3月15日組み合わせ抽選  
聖光学院は2年連続4度目の出場で、11年夏から4季連続での甲子園出場。昨春秋の東北大会で優勝した仙台育英(宮城)と共に出場が確実視されていた。組み合わせ抽選は3月15日、大阪市で行われる。

県勢の「センバツ」出場は2年連続17度目。いわき海星は春、夏通じて初めての甲子園出場となる。本県から21世紀枠で出場するのは、2001(平成13)年の安積以来、12年ぶり。いわき海星は東日本大震災の津波により校舎やグラウンドが壊滅的な被害を受けたが、ひたむきに練習を続けた。昨春秋の県大会2回戦の聖光学院戦では、0-7の七回コールドで敗れたものの聖光学院打線を五回まで無失点に抑え、ベスト16入りの奮闘を見せた。

第85回選抜高校野球大会(3月22日から13日間・阪神甲子園球場)の出場36校を決める選考委員会は25日、大阪市で開かれ、21世紀枠の候補校となっていたいわき海星と、昨春秋の東北大会で準優勝した聖光学院の2校が出場を決め、本県から史上初の複数校出場となった。